

近藤 龍也

熊本大学大学院生命科学研究部代謝内科学 助教

温熱微弱電流同時印加療法(MET)による2型糖尿病患者の糖代謝改善効果の検証

2型糖尿病の発症・進展抑制が急務となっている現在、我々は熱ショック応答経路の活性化を糖尿病治療の一選択枝として臨床応用できるよう研究を進めている。本研究では温熱微弱電流同時印加療法(MET)による熱ショック応答経路の活性化が、ヒト2型糖尿病患者群の体組成・代謝異常にどのような影響を与えるかに関して、臨床試験を実施した。なお、全例の結果解析は進行中なので、本報告では20例の暫定結果を報告する。

MET 施行することにより施行前と比較して、体重は不変であったが、内臓脂肪面積減少・血圧低下・耐糖能改善・インスリン抵抗性改善・微量蛋白尿減少・炎症性サイトカイン低下・脂質代謝改善作用を示した。この結果は、糖尿病モデルハウスおよびヒトのメタボリックシンドローム該当者に示した有効性に類似していた。したがって、MET 治療は生活習慣病全般に対して、予防および治療効果があると考えられ、具体的な臨床現場での使用が現実味を帯びてきた。